

令和7年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%					○
算数	58.0%					○
理科	57.1%				○	

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%					○
我が国の言語文化に関する事項	81.2%	○				
話すこと・聞くこと	66.3%				○	
書くこと	69.5%			○		
読むこと	57.5%				○	

【考 察】

- 学年別配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うことができていました。今後も、言葉の特徴や使い方を意識させながら指導していきます。
- 「我が国の言語に関する事項」のみが、全国平均を下回りました。問題から分析すると、自分の生活以外で使う言葉に触れていないことがうかがえます。多くの知識を得るために、視覚的効果の高いタブレット等は日常的に使用している子どもたちですが、文章から得る言葉、知識、想像を膨らませる力などを身につけさせていく必要があると感じました。読書量を増やせるように努めていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
図 形	56.2%					○
測 定	54.8%			○		
変化と関係	57.5%			○		
データの活用	62.6%				○	

【考 察】

- 「数と計算」の領域では、特に全国平均を上回っていました。数直線上に示された数を正しく分数で表記することができていました。知識・技能がよく身につけているので、今後も計算力及び内容を理解する力が確実に高まるよう継続して指導していきます。
- 「変化と関係」では、思考力・判断力・表現力を問われる、「記述の問題」に課題が見られました。答えを求めるだけでなく、答えを求めるまでの過程が大切であることを理解させ、具体的に考えたり、説明したりできるように授業の中で取り組んでいきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%	○				
粒 子	51.4%				○	
生 命	52.0%					○
地 球	66.7%					○

【考 察】

- 生命の領域では、ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が、確実に身につけていました。授業の中で、実感を伴った理解ができるよう、今後も工夫して取り組んでいきます。
- エネルギーの領域、「電気の回路」について、「実験の方法を想像し、表現することができるか」という部分に課題が見られました。「予想を立て、適切な方法を考え、実際に実験を行い、結果を考察して、表現する」という力は、電気の回路だけでなく、他の単元や領域でも必要な力なので、日々の授業で意識しながらその力を身につけさせていきます。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小 6	全 国	32.6	49.1	15.3	2.8
	白二小	38.5	50.0	10.4	1.0

(単位 %)

【考 察】

- 自分で学び方を考え、工夫できている児童が多いです。今後も見通しをもって学習に取り組み、自分で調べたり、友だちと話し合ったりすることを通して、問題解決に向けて、工夫できる子どもを育てていきます。
- 分からないことや追究したいことがあった時には、子どもたちの意欲を大切にしながら、本や辞書、資料集、ICTの活用を図りながら自力解決ができるように支援し、友だちとの学び合いを通して一人一人の学びを広げたり深めたりする授業を推進していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小 6	全 国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7
	白二小	3.1	15.6	32.3	32.3	14.6	2.1

(単位 %)

【考 察】

- 約半数の児童が、学校が目標としている70分（学年×10分+10分）の学習時間を達成できているととらえています。達成できていない児童の家庭学習の習慣が身につくよう、宿題や自主学習の充実に取り組み、指導をしていきたいと思ひます。また、効果的な家庭学習となるよう、内容の充実も図っていききたいと思ひます。
- 今後も、児童の学習の実態把握に努め、課題を改善できるような宿題を工夫していきます。家庭での動画やテレビの視聴、ゲームの時間が長い様子が見られますので、家庭との連携による「メディアコントロール」の推進を図り、学習時間の確保と充実に取り組んでいきます。

- 3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	3 1. 2	4 8. 2	1 7. 1	3. 3
6	白二小	3 5. 4	4 9. 0	1 4. 6	1. 0

(単位 %)

【考 察】

- 多くの児童が、学習内容を見直して次の学習へつなげようと努めている様子が見られます。今後も「分からないことをそのままにしない」という意識をもって、学習に取り組むことができるように指導していきます。
- 授業の終わりに、その時間でどんなことを学んだのかを振り返ったり、学習を通して分かったこと、感じたこと、さらに疑問に思ったこと等を教科日記にまとめたリする活動を行っていることが、学習内容の定着に繋がっていると思います。今後もこの活動を通してさらなる学習内容の定着を図り、次の課題づくりにも役立てていけるよう、努めていきます。

- 4 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか？

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	3 5. 5	4 7. 0	1 4. 3	3. 0
6	白二小	3 9. 6	5 1. 0	8. 3	1. 0

(単位 %)

【考 察】

- 9割以上の児童が、授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考え、生かすことができると考えています。そのような力は、これからの社会を生きていく上で非常に重要な力であるので、児童が学びを自覚したり、さらに力を発揮したりできるように、学校生活・家庭生活の両面で意識させていきます。
- 「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童についても、学んだことを活用できる場を設定するなど授業を工夫して、身につけた力を使って解決できる経験を積めるようにしていきます。